

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) EXC稲毛台計画 新築工事	階数	地上3F
建設地	千葉県千葉市稲毛区稲毛台町65番	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年8月4日
敷地面積	1,487 m ²	作成者	新日本建設㈱ 宇津見 聡
建築面積	887 m ²	確認日	2023年8月4日
延床面積	2,498 m ²	確認者	新日本建設㈱ 宇津見 聡

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>ZEHオリエントドの省エネ基準を満たすように断熱材やサッシ性能をあげ、また太陽光パネルを設置し温熱環境に配慮しました。</p> <p>周辺は低層住宅が建ち並び住宅街のため、緑地を多く確保し周辺環境と調和のとれた住環境に努めました。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>専有部分について、断熱等性能等級4を超える性能としている。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>住宅性能評価における劣化対策等級3とし、建物のサービス性能の向上に努めている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外構緑化指数56.7%とし、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱等性能等級4を超える性能、BEI=0.77としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LGS下地やノンフロンの断熱材を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO2排出率75%とし、光害抑制にも配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される